

人工産卵床に産卵するアオリイカ—黒潮実感センター提供



アオリイカの「里親」募集!

柏島 産卵床設置し増殖を

大月町の柏島の活性化に取り組んでいるNPO法人「黒潮実感センター」(神田優センター長)が、周辺海域に生息するアオリイカの「里親」を募集している。1万円程度で人工産卵床1基のオーナーになれば、来年11月ごろ、産卵する様子を捉えた写真とイカ約1キログラムがプレゼントされる。

アオリイカは西日本で水揚げされ、身が柔らかく美味なことから安定した高値で取引される水産資源だ。だが柏島周辺では近年、産卵場所となる海藻のホンタワラなどがウニに食べられ、漁

獲量が減少傾向にあった。神田さんは01年から、地元漁業者とダイバーの協力を得て、周辺海域にカシや杉、ヒノキの枝を束ねて作った産卵床を設置して産卵数を増やしてきた。さらに産卵床を増やそうと今春、里親制度を考案。応募締

め切りは来年3月末で、多数の場合は抽選となる。神田さんは「柏島で自然と人が共存する『里海』づくりをしっかりと進めていきたい」と話している。問い合わせは黒潮実感センター(0880・62・8022)。

【最上和喜】